用　語　解　説

し	人生１００年時代	イギリスの高等教育機関の研究によって提唱された言葉。この研究の中で、2007年に日本で生まれた子どもの半数が107歳より長く生きると推計されている。100年という長い期間をより充実したものにするためには、幼児教育から小・中・高等学校教育、大学教育、更には社会人の学び直しに至るまで、生涯にわたる学習が重要と言われている。
す	スキルアップ	腕前を上げること。技術力を高めること。
	スクールヘルパー（ブックヘルパー）	保護者や地域の方々などが、学校に登録し、従事するボランティア。スクールヘルパーは、子どもの安全対策、授業の支援、ブックヘルパーは、学校における児童生徒の読書活動の支援を行う。
せ	青少年ボランティアステーション	ウェルとばた内にある青少年が行うボランティア体験活動を支援・促進する機関。
た	多様性	年齢・性別・障害の有無・国籍・人種・価値観・ライフスタイルなど様々な違いを問わず多様な人材を認め、活用すること。
ち	地域学校協働活動	地域の高齢者、成人、学生、保護者、PTA、NPO、民間企業、団体・機関等の幅広い地域住民等の参画を得て、地域全体で子どもたちの学びや成長を支えるとともに、「学校を核とした地域づくり」を目指して、地域と学校が相互にパートナーとして連携・協働して行う様々な活動。
	地域・人づくりアドバイザー（社会教育主事）	各区コミュニティ支援課及び生涯学習総合センターに配置され、社会教育に関する専門職員として、専門的、技術的な指導や助言を行い、生涯学習活動を支援し、また、住民の主体的な地域活動や、地域活動を行う人材育成など、地域づくりを支援する人材。
	長期欠席者	年度間に連続又は断続して30日以上欠席した児童生徒。
	超高齢社会	総人口に占める65歳以上の人口割合が7%を超えた状況を高齢化社会、14%を超えた状況を高齢社会、21%を超えた状況を超高齢社会という。
は	パートナーシップ	協力関係。提携。
ひ	ＰＤＣＡサイクル	Plan（計画）→ Do（実行）→ Check（評価）→ Act（改善）の 4段階を繰り返すことによって、業務を継続的に改善する。
ふ	フリースペース活動	市民センター、保育所、幼稚園など身近な施設に、子ども連れの人が自由に参加、利用できる遊びや交流の場所を提供するもので、常時、設置しているものや定期的に開催されるものがあり、ボランティア等による見守りやイベントが実施される場所及びその活動。

用　語　解　説

ほ	放課後児童クラブ	放課後の児童の健全育成を図るために、概ね小学校区ごとに設置。放課後児童クラブの多くは、校区社会福祉協議会やまちづくり協議会などの地域団体の方々が中心となって運営している。
	ボランティアコーディネーター	社会福祉施設でボランティアを受け入れる際のボランティアと施設を結ぶ役割を担う人材。
ま	学びサポーター	学習の成果を活かし、自主的なボランティア活動を通して、「市民の生涯学習活動を支援すること」「自らも活動の中から知識や技術を取得すること」「会員相互の交流や学習による自己実現を目指し、生涯学習社会の形成に寄与すること」を目的としているボランティアグループ。活動の場は、生涯学習総合センター（小倉北）、八幡西生涯学習総合センター（八幡西）の2ヶ所。
	まなびネットひまわり	本市の生涯学習に関する情報を、市民へ総合的・一元的に提供するインターネットサイト。講座情報の検索、北九州市生涯学習人材バンクに登録された講師やボランティアを探す、北九州市生涯学習人材バンクに登録する、その他生涯学習に関する情報の閲覧などの機能がある。
み	ミュージアムティーチャー	博物館勤務の教員。博物館体験学習の実施や学習プログラムを作成する。
ら	ライフステージ	人の一生を乳幼児期・青少年期・成人期・高齢期などに区切った、それぞれの段階。
	ライフサイクル	誕生から死までの、人の一生の過程。
り	リカレント教育	社会人になってからも、学校などの教育機関に戻り、学習し、また社会へ出ていくということを生涯にわたって学習を続ける教育の形。
わ	ワーク・ライフ・バランス	仕事と生活の調和のこと。仕事と生活の調和が実現した社会とは、一人一人がやりがいや充実感を感じながら働き、仕事上の責任を果たすとともに、家庭や地域生活などにおいても、子育て期、中高年期といった人生の各段階に応じて多様な生き方が選択・実現できる社会。

★子育て・親育ちのための★

北九州市
子どもを育てる10か条

わたしたちのまち・北九州市では、
家庭や地域のみなさんと一緒に取り組む子育て・親育ちのための
「北九州市　子どもを育てる 10 か条」をつくりました。
一歩一歩、一緒にできることから始めましょう。

今日から一歩、毎日ひとこと、明日が変わる。
みんなで取り組もう
「北九州市の子育てルール」。

朝は明るく笑顔で「おはよう」
朝の挨拶から始まる親子の会話、地域の絆。大切ですね。

家族にも「ありがとう」と「ごめんなさい」
親しい仲ほど、忘れがちな言葉。素直な気持ち、伝えよう。

子育ては 誉める・叱る・見守る・抱きしめる
どれかひとつが欠けても、うまくいきません。

聞く時は 子どもの目を見て 心を聴いて
心の中の「本当の声」に、気付いていますか？

食事が楽しみな家庭にしよう
いっしょがうれしい。愛情がおいしい。

大切にしたい 物より体験
お金では買えない「体験」を、子どもの時から。

まず親が きちんと実行 社会のルール
親の背を見て子は育つ、と申しますから。

声かけて 地域の宝 子どもたち
誉めたり叱ったり認めたり。わが子と同じ愛情もって。

教えよう 平和といのちと助け合い
世界の話、地球のいのち、いっしょに考えよう。

子どもと夢を語り合おう
夢を持つ、実現しようとがんばる。成長の原点です。

プラス1か条は それぞれのご家庭で 考えてみてください。

わが家の プラス 1か条

私たちは、毎日ひとつだけでも実行することを約束します。

家族の署名

北九州市教育委員会

北九州市生涯学習推進計画
《“学びと活動の環”推進プラン》
（令和３年度～令和７年度）

北九州市市民文化スポーツ局
地域・人づくり部生涯学習課
〒803-8501　北九州市小倉北区城内１番１号
TEL 093-582-2385

北九州市印刷物登録番号　第 2009143A 号